

7. 各大学提供科目

・ 対面授業科目

対面授業				11001	
授業科目名：ロシア語 I			担当教員氏名：A. オランスカヤ		
Russian Language I					
履修年次 1～4	1 単位	前期	1 コマ		
【授業の目的】 1. ロシア語の書き方入門 2. 発音入門 3. ロシア語イントネーションの型					
【授業内容】 1 ロシア語アルファベット、アクセント、イントネーション第1型 2 イントネーション第2型、第3型、印刷文字、手書き文字 3 まとめ 4 2音節および3音節の単語のリズム、イントネーション第2型、発音練習 5 イントネーション第5型、第2型 6 йの文字について、コミュニケーションモデル、ьとЪの文字について 7 母音字と子音字の分類練習のまとめ 8 トレーニングと小テスト、イントネーション第4型、ロシア語語彙のリズムモデル 9 イントネーション第2型、イントネーション第5型 10 リズムモデル、新しいコミュニケーションモデル 11 まとめおよび筆記試験 12 まとめおよび口答試験 13 名刺の主格の性、数詞の量、現在形の第1式変化、(非活動体)名詞の対格 14 数詞の仕組み、“хотеть”の完了体における変化 15 形容詞の主格の性					
【テキスト】 音楽家のためのロシア語1、2					
【参考図書】 1 ロシアへの道1 2 反復練習ロシア語					
【成績評価の方法】 試験					

7. 各大学提供科目

対面授業			11002	
授業科目名：ロシア語Ⅱ			担当教員氏名：A. オランスカヤ	
Russian Language Ⅱ				
履修年次 1～4	1 単位	後期	1 コマ	
【授業の目的】				
1. ロシア語の前置詞の仕組み 2. 格の持つ意味 3. 動詞の時制／動詞の体				
【授業内容】				
1 形容詞の比較級 2 形容詞および副詞の比較級 3 不完了体第2式動詞の格変化 4 名詞の複数形、名詞を伴う対格における数詞 5 形容詞および指示代名詞の複数形、場所の前置詞 6 未来形における動詞“б ы т ь” 7 名詞の生格、否定の意味 8 物主代名詞 9 名詞の生格、所属と関係の意味① 10 名詞の生格、所属と関係の意味② 11 名詞の生格、移動の起点の意味、出身国の表記① 12 名詞の生格、移動の起点の意味、出身国の表記② 13 未来形における不完了体動詞の格変化 14 前置詞“y”を伴う生格における人称代名詞、数詞 15 まとめと筆記試験、口頭試験				
【テキスト】				
音楽家のためのロシア語 3、4、5				
【参考図書】				
1 ロシアへの道 1 2 反復練習ロシア語				
【成績評価の方法】				
試験				

7. 各大学提供科目

対面授業			11003		
授業科目名：食統計学			担当教員氏名：松本 隆行		
Statistics for Food Science					
履修年次2～4	2単位	前期	1コマ		
【授業の目的】 <ul style="list-style-type: none"> ・統計処理の重要性について理解する。 ・母集団と標本の意味を理解する。 ・基本統計量や分布について理解する。 ・データを適切に処理し、データの特徴を数値、グラフで表現できるようになる。 ・数値やグラフから、データの特徴を知ることができるようになる。 ・統計学検定により客観的判断ができるようになる。 					
【授業内容】 <ol style="list-style-type: none"> 1 ガイダンス：全体の授業計画および受講の心構えと授業の進め方などを説明する。 2 統計学の目的：具体的事例を通して、統計学の目的、重要性、汎用性について学ぶ。 3 データの取り扱い：データの種類とその特徴、取り扱いの違いについて理解する。 4 母集団と標本、標本抽出法：統計学の基礎となる母集団と標本の関係について理解する。標本の取り方の注意についても学ぶ。 5 データを記述する（1）：データの種類とグラフ統計 データは、その特徴により、どのような種類に分類されるのかを理解し、適切なグラフ表現、あるいは、グラフの読み取りについて学ぶ。 6 データを記述する（2）：データの特数量 データの特徴を知るうえで重要となる数値、基本統計量について理解する。 7 データを記述する（3）：分布の読み取りと比較 データの特徴を知るうえで重要となる分布の図式表現とその読み取りについて学ぶ。 8 データを記述する（4）：変数間の関係を見る 複数のデータ間の関係を調べる方法（相関分析）について学ぶ。 9 データを記述する（5）：隠れた関係の発見と予測 データ間に潜む関係について探る方法（回帰分析）について学ぶ。 10 データから全体像を推測する。確立分布いろいろ 統計の基礎となる、確率について理解し、様々な確率分布を学ぶ。 11 標本から全体像を推測する（1）：点推定と区間推定 標本から母数を推定する方法について学ぶ。 12 標本から全体像を推測する（2）：統計学的検定 確立分布を通して、事象の起こりやすさと真偽の判定方法の基本的な考え方を理解する。 13 標本から全体像を推測する（3）：検定法のいろいろとその発展 標本から平均を検討する方法（t検定）について学ぶ。 14 標本から全体像を推測する（4）：検定法のいろいろとその発展 分散分析（一元配置）について学ぶ。 15 標本から全体像を推測する（5）：検定法のいろいろとその発展 ）X（カイ）二乗検定等について学ぶ。 					
【テキスト】 武藤志真子 編著：『管理栄養士・栄養士のための統計処理入門』 建帛社。					
【参考図書】 特に必要なし					

7. 各大学提供科目

必要な場合は、講義内容に応じて示す。

【成績評価の方法】

課題レポート 30%

課題の取り組み、姿勢 10%

期末試験 60%

7. 各大学提供科目

対面授業			11004	
授業科目名:子ども文化論			担当教員氏名:浅野泰昌	
Theory of Children's Culture				
履修年次 1~4	2 単位	後期	1 コマ	
<p>【授業の目的】</p> <p>1) 日本の風土と文化について学習し、保育及び教育における意義を理解する。</p> <p>2) 日本の年中行事(伝統行事、社会行事、園・学校行事)について理解し、保育及び教育における具体的な実践活動を企画・立案・実施できる。</p> <p>3) 子どもに関わりの深い児童文化財(手遊び、歌遊び、絵本、紙芝居、パネルシアター、人形劇、ペープサート、影絵劇等)について理解し、簡単な実践を企画・立案・実施(製作・上演)できる。</p>				
<p>【授業内容】</p> <p>1 人間と文化:文化を創造し、継承することの意味について学習し、文化と人間性の関係について理解する。</p> <p>2 子どもと文化:子ども観の変遷について学習し、文化の発展に果たす子どもの役割や、子どもの学びと育ちにおける文化の役割について理解する。</p> <p>3 日本の風土と文化:日本の風土について概説し、それに基づいた日本の文化的特質について学習する。また、文化と風土の関係について学習し、保育・教育などの文化的実践における地理的・社会的背景の重要性について理解する。</p> <p>4 日本の年中行事:日本の風土と文化に関する学習をふまえ、四季及び月々の年中行事について学習し、その意味や意義、保育・教育における重要性について理解する。</p> <p>5 児童文化財による子どもの学びと育ち:保育・教育における児童文化財の位置づけや実践のあり方について概説し、子どもの学びと育ちに果たす役割について理解する。また、児童文化財の実践に関連のある言語・身体・造形表現の基礎について学ぶ。</p> <p>6 児童文化財の概説と実践の基礎① 手遊び・歌遊び・童唄</p> <p>7 児童文化財の概説と実践の基礎② 絵本・素語り・紙芝居</p> <p>8 児童文化財の概説と実践の基礎③ 玩具・遊具</p> <p>9 児童文化財の概説と実践の基礎④ 劇的表現(劇・人形劇・影絵劇・ペープサート・パネルシアター・エプロンシアター他)</p> <p>10 児童文化財の概説と実践の基礎⑤ 視聴覚教材・アニメーション作品他</p> <p>11 児童文化財の実践① 季節/月々の行事の調査:実践発表班に分かれて、日本の年中行事に関して、その由来や概要、内容及び保育・教育に果たす役割について調査する。</p> <p>12 児童文化財の実践② 児童文化財の製作:実践発表班に分かれて、児童文化財を用いた発表の準備(製作)を行う。</p> <p>13 児童文化財の実践③ 児童文化財の練習:実践発表班に分かれて、児童文化財を用いた発表の準備(練習)を行う。</p> <p>14 児童文化財の実践④ 児童文化財の実演:実践発表班に分かれて、児童文化財の実演発表を行う。同時に、相互評価を行う。</p> <p>15 総括:本授業を総括し、以降の学習や実習、教育及び保育実践に接続させる。</p>				
<p>【テキスト】 適宜、資料を配布する。</p>				
<p>【参考図書】</p> <p>遠山淳・他 編:『日本文化論キーワード』, 有斐閣。</p> <p>関矢幸雄:『遊びのなかの演劇』, 晩成書房。 他、適宜紹介する。</p>				
<p>【成績評価の方法】</p> <p>以下の3つの観点で評価する。</p> <p>1)平素の受講態度(発言や実技披露などの積極性)30%</p> <p>2)期末課題(準備過程の態度を含む)40%</p> <p>3)期末レポート30%</p>				